

令和6年度第3回「OPEN！みんなで話そう！やまさき市長とともに」概要

日 時	令和6年12月21日(土)10:00～11:40
場 所	宝塚市役所第二庁舎 会議室 A・B
テーマ	我が家のペットと防災対策
出席者	市民12名
	山崎市長、市民交流部職員4名、都市安全部職員4名

1. 開会

- (1) 市長挨拶
- (2) 本日の流れについての説明
- (3) 自己紹介

2. 市民と市長との意見交換

- (1) 都市安全部によるテーマの説明(20分程度)
- (2) 意見交換

ア 【司会】本日のテーマである「我が家のペットと防災対策」についてご意見をいただきたい。

イ 以前に犬を飼っていて、地震で家が揺れるたびに不安に思っていた。今はペットを飼っていないが、地域の方々の役に立ちたいと思っている。ペットの同行避難について、あるゴルフ場ではペット同行避難ができると聞いて、市街地から近いゴルフ場でも同様に同行避難ができないかと協力を依頼した。能登半島地震の際もペットの同行避難可としていたのに、避難場所ですぐにペットを受け入れてもらえなかったという話を聞いた。動物アレルギー、動物が苦手な方もいらっしゃるため、ペットと同行避難で学校に避難することは難しいのかもしれない。市街地から近いゴルフ場で同行避難ができれば、負担がないのではないかなと思った。みんなが楽しめるペット同行避難の防災訓練が実施できないかなと思っている。

ウ 【市長】協力していただける場所が多ければ多いほど、多くのペットを受け入れることができるためありがたいと思う。飼い主とペットが避難所で離れることはとても不安に感じる。指定避難所の多くは体育館が避難所になっている、学校敷地内のどこかをペットの避難場所にできれば一番良いが、学校は学校長の管理下となっている。教室を避難場所として使用できるように総合防災課と教育委員会で話をしていきたいと思う。可能な限り、飼い主の近くでペットも避難できるような方法を考えたい。ペットを飼っている市民は全市民の3割ぐらいである。避難場所ではその3割の方々にネットワークをつくって、コミュニケーションを取りながらみんなでペットを守っていけるような仕組みを考えたい。

エ ペット避難の大部分は自助であるという話だったが、自助も重要だがペットに関しては公助になると思う。10月に行った避難訓練ではペットの同行避難で訓練を行った。その時は野球部の雨天練習場をペットの避難場所とした。飼い主は体育館に避難するとペットと数百メートル

ル離れての避難所生活となる。実際に避難しないといけないとなった場合、訓練時のような運営で同行避難は可能なかと不安に思った。先ほどゴルフ場の話があったが、高齢者はゴルフ場までどのようにして行くのかということもある。市内小学校ごとの方針を統一して、市の方針を固めてほしい。

オ 【市長】ペットの餌やトイレの物資が避難所に届くまでの日数分の物資は各自で準備いただきたい。限られた市職員で避難所を開設して準備しないといけないため、市民の皆様にも協力いただきたい。ペットに関しては一定仕組みを作りたいと思っている。ペットもストレスがかかることがあるため、動物の性質を考えて安心して避難できる仕組みを作らないといけない。学校の教室をペットの避難場所として使用できたらよいと思っているが、その教室は避難所閉鎖後は児童が使用し、児童に動物アレルギー反応が出たときにどうするのかという教育委員会の考えも分かる。市内すべてのペットが避難してくると 540 匹ぐらいの想定である。この 540 匹すべてが避難してきた時のことも考えないといけない。自宅が無事ならペットは在宅避難して、飼い主が避難所と自宅を行き来して面倒をみる方法もある。

カ 過去に、外出している時に自宅近くの山が火事になり、避難所にペットを連れて行くと迷惑だと思いペットと一緒に避難できなかったことがある。仕事の関係で高齢者の方の話を聞いていると、施設入所を勧められた方がいたが、自宅にペットがいるからという理由で施設に入らなかったという方がいた。自治会の役員をしていた時にわんわんパトロールを実施して、高齢者の方々の見守りをしていた時もあった。大きな支援も必要であるが、地域住民ができる小さなことも考えていきたいと思う。

キ 【市長】自分自身で避難することが難しい方は、要援護者支援制度に登録していただいて、何かあった時には登録いただいた情報から安否確認等の対応をさせていただく。個人情報であるため登録を渋られる方もいらっしゃるが、ペットを飼われている方はペットのためにもなると思った。

ク まち協で防災の担当として活動しており、地区防災計画と避難所運営マニュアルをペット防災のことも盛り込んで作成をした。作成した際には小学校の校長先生にも協議に入ってもらい、避難所とペットのことにしても前向きに考えてくださっているため、もし何かあった際は同行避難ができればと思っている。外出している時に被災したら他地域の避難所に避難しないといけない状況もあると思う。ペット防災について考えることは飼い主のためでもある。災害時のペットの対応について事前に考えて対策をしておくことで、避難所でペットを保護することがなくなる。そのことで人員もお金も時間も割かなくて済むし、一日も早い復旧復興につながる。ペット防災について考えることが市民全員のためであるという理解が進まない。ペットを飼っていない方にとっても重要な課題である。また、学校によって対応が変わるのはつらい。子どものことだけではなく、ペットと子ども両方のことを考えてもらえるとありがたいと思う。ペット防災については動物愛護法の観点でも重要なことであるということを聞いたことがある。ペットを飼っていない方にも正しい理解が進む方法があればいいと思う。

ケ 【市長】ペットの避難については、ペットを飼っている人のことだけではなく、災害時にどのよう

に共存していくかが重要だと思う。復興していくにあたって仕組みができていて、労力を充てるべきところが明確になっていれば復興が早くなる。ペットを連れて避難することに気後れしないよう、ペットを連れて避難して来られた時にはこうするという仕組みを作りたいと思う。

コ 【都市安全部】ペットも家族の一員であるため、避難所の環境を整えて、一緒に避難してもらえるように考えたい。また、阪神淡路大震災のような直下型地震が発生した場合、在宅避難をされた時にペットと飼い主の安全を守れるような仕組みをつくるのが課題だと思っている。

サ まち協でペットの同行避難訓練を実施したことがある。その時は指定避難所である小学校の理解が得ることができず、学校までの同行避難はできなかった。その時は自治会館で犬のみの同行避難を実施したが、飼い主が目の前からいなくなるととても吠えた。飼い主と別のところでペットを避難させることは現実的ではないと思う。また、日常生活で盲導犬や介助犬と一緒に生活をされている方がいらっしゃるなかで、アレルギーを理由に区別されているのは腑に落ちない。アレルギーのことを考えていけないといけないということが抜けているように思う。教育委員会だけではなく他の担当も含めてアレルギー対応についてどうするのかということを考えないといけない。また、ペットを飼っている人もペットについて理解してもらえるようにしつけをしないといけない。

シ 【市長】しつけをすることは周りに対しても重要なことだが、ペット自身にとっても重要である。猫は散歩等で外出することがないため、日常的にゲージに入るようにしつけておくことが飼い主にできる最低限のことだと思う。アレルギーに関しても、人間の意識を変えていけるよう働きかけをしていけないといけないと思った。

ス 【都市安全部】避難所運営に関しては、教育委員会や校長先生の下承が得られていない。避難所運営マニュアルを各まち協ごとに作成されている。マニュアルの作成には教育委員会は携わっておらず、基本的には地域の方々が中心で校長先生や学校施設も一緒に考えて作成いただいている。どのような避難所が望ましいかということを各地域で意見交換していかないといけない。まち協の会議の場で意見を述べることは簡単なことではないと思うが、ペットを飼っている方の意見として地域の方々に届くようにしていただけるとありがたいと思う。また、それが地域内でペット防災についての理解を深めていくことにつながると思う。

セ ペットを飼っているのは市内で3割という話だったが、登録をしていない猫を含めると、もう少し多いのではないかなと思った。ゴルフ場への避難は二次避難所としての利用になると思うが、一次避難所はどこなのか分からない。西宮市が作成されている防災地図には、避難所一覧とペット可の避難所が記されたものを見たことがある。それはわかりやすいと思った。猫は繊細であるため、避難所に行ったとしても車内で過ごすことになると思う。

ソ 【市長】ペットを飼っている方の割合について、市で独自調査をした結果ではなく、動物愛護の方から教えていただいた情報である。一次避難所は指定避難所である小学校体育館である。猫は車内で過ごすという話であったが、人間も車内で過ごしていると体調を崩す。極力車内ではなく避難所もしくは自宅が安全であれば在宅避難を検討いただきたい。自分が住んでいる地域に災害が起きた際に、どう避難するのかということを決めておくことが重要である。

ペットが心地よい空間で避難所生活ができるように、ペット避難の備えも検討したいと思う。

- タ 【都市安全部】地図上にペット可の避難所を記したものは現状用意できていない。今後分かりやすく記載したものをホームページに掲載したいと思う。
- チ 自宅が倒壊しなければ在宅避難を考えていて、防災用品のストックもしている。ペットにもストレスがかからないように配慮しようと考えている。すべての指定避難場所はペットを連れて行ってもいいのか。公共施設が避難所になっているところはあるのか。また、過去の災害時にペットに関して困ったという話があれば伺いたい。
- ツ 【都市安全部】ペットの同行避難を呼びかけているため、指定避難所となっている小学校、中学校への同行避難は可能である。各地域の避難所運営マニュアルでは、運動場や体育館の近くのスペースをペットスペースとして設けられている。学校の配置によってペットスペースと体育館の距離が離れているところがある。平成30年7月の豪雨の際に、ペットを連れて避難されたことがあった。その地域では避難所運営マニュアルを作成されていたため、特に混乱は起きなかった。現在、指定避難所となっているのは学校施設が基本となっているため公共施設が避難所になっているところはない。今後、ゴルフ場や動物病院、ペットホテルで避難所となる場所を確保していきたいと思う。
- テ 西山小学校は体育館の建て替え工事を控えている。西山幼稚園があった傾斜地に新体育館が建設予定で、体育館下にピロティができるため、その場所でペットの同行避難をしたいと思っている。また、ピロティにもトイレを設置してほしいと要望を出したが予算の関係で断られた。その場所にトイレがあると避難時に使うことも可能になるし、普段は児童が体育の授業の時に使うことができる。検討いただきたい。
- ト 【市長】ピロティにトイレを設置する費用は補助金の対象にならなかったのではないかと思います。補助金の対象外となると市の財源から捻出することになる。設置できるよう関係課で検討をしたいと思う。
- ナ 犬を飼うことを考えたことがあり、今後飼う可能性もあるため参加した。ペットの避難に関して多くの課題があることを知れてよかった。今はメダカを飼っており、餌やメダカ用の水の備蓄等、今日をきっかけに家族と話し合いたいと思う。
- ニ 【市長】メダカを飼っていると聞いて、メダカ用の水の備蓄が必要であるという考えがなかった。発災時のことについて家族の方と話し合っていたきたいと思う。
- ヌ 様々な話を聞くことができてよかった。今日聞いた話を周知していきたいと思う。防災に対して意識が高い方は広報やチラシを見ていると思うが、意識が低い方に楽しく防災訓練等に参加してもらえるように周知方法を工夫していきたい。
- ネ 【市長】一人でも多くの市民の方に防災について知ってもらい、助け合い、理解しながら避難所生活を送ることができるようご協力いただけるとありがたいと思う。
- ノ ゴルフ場にペットを連れて避難できるという話があったが、車移動となるとゴルフ場へのペット同行避難は諦めるしかないと思っていた。ゴルフ場の方と住民で情報交換をしながら、避難方法等を考える機会があればいいと思った。また、空き家を一時的に避難する場所として利

用できないのかと思っている。空き家を利用できるのであれば、事前に対策等を考えて、ボランティアとして協力したいと思う。

ハ 【市長】空き家の持ち主の方から了承を得ることができれば利用可能ではないかと思う。発災時に指定避難所がどれくらい機能するのかということを考えて、利用できるものは避難所として利用していきたいと思う。

ヒ 孫が連れてきた猫を飼っており毎日癒されている。動物病院の待合室でもペットに癒されていると話をすることがある。万が一の時のために、普段からペットのための備蓄等を考えたい。また、自治会に入れず、情報収集ができないことがあるため、検討していただきたい。

フ 【市長】普段のつながりから生まれたネットワークを活用して、小さいことからでも意識を高めていただければと思う。

3. 閉会

(1) 市長挨拶